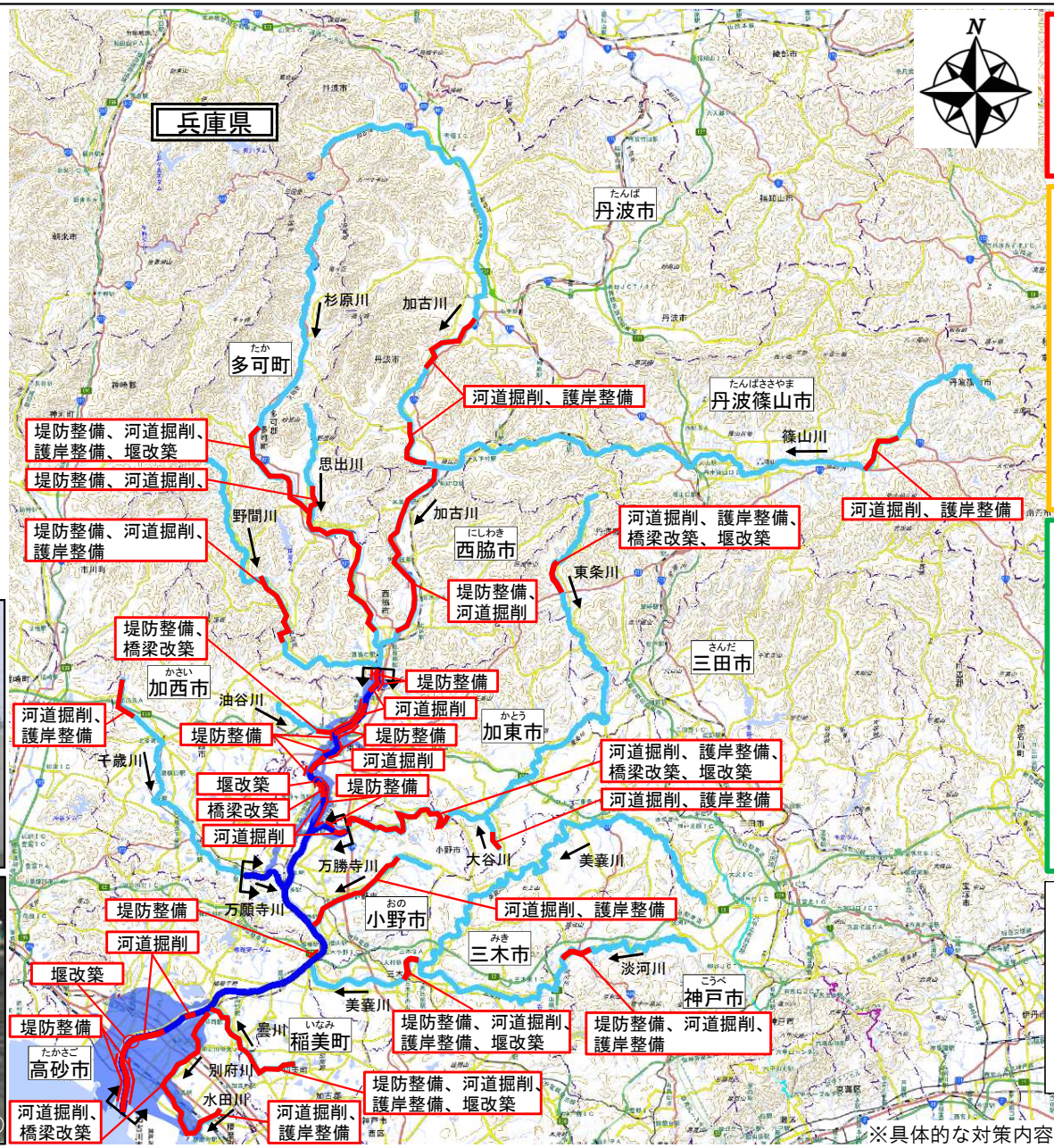
加古川水系流域治水プロジェクト　中間とりまとめ（案）

～県下最大河川「加古川」の治水対策推進～

別紙

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、加古川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大規模洪水である平成16年台風23号洪水と同規模の洪水が発生した場合でも、浸水被害を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



平成16年10月台風23号（下滝野地区）
床上浸水430戸、床下浸水1,222戸

平成16年10月台風23号（加古川町寺家町地区）

■河川における対策

河道掘削、堤防整備、護岸整備、
堰改築、橋梁改築、堆積土砂撤去、河川管理施設等
の老朽化対策　等

■流域における対策

- 下水道の整備
- ため池、水田、校庭等の雨水貯留浸透機能の確保
- 利水ダム等11ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
  （関係者：国、兵庫県、小野市、丹波篠山市、加東市など）
- 森林の整備及び保全
- 開発行為に伴う調整池の設置（条例による義務化）　等

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策

- マイタイムライン、マイ避難カードの作成促進
- 洪水ハザードマップの高度化
- 携帯アプリを活用したプッシュ型配信
- 防災教育や避難訓練等の実施
- 防災情報の高度化によるスマートシティーの構築
- 水位計・監視カメラの設置
- 市町への水位予測情報の発信
- 敷地の嵩上げや建物の耐水化を促進
- 兵庫県住宅再建共済制度(ﾌｪﾆｯｸｽ共済)の加入促進　等

※今後、関係機関と連携し対策検討

凡　　例

- 河道掘削
- 堤防整備
- 浸水範囲（平成16年台風23号　国管理区間における氾濫解析結果）
- 大臣管理区間

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。